名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校
天津大学建築学院

2026 年度国際建築・都市設計ワークショップ
“Cool School – Adapting Parisian Schools to a Changing Climate”





2026 年度の国際学生建築・都市設計合同ワークショップ（WS）は、大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース、フランスのパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校（ENSAPVS）、天津大学の 3 校合同で、2026 年 9 月 14 日（月）から 18 日（金）までの 5 日間、ENSAPVS を主会場として実施しました。

今回のテーマは、「Cool School – Adapting Parisian Schools to a Changing Climate」です。気候変動による高温化が進むなか、子どもたちが日々長い時間を過ごすパリ市内の小学校や幼稚園に着目しました。ますます厳しくなる将来の暑熱環境を見据え、熱波から子どもたちを守りながら、生態学的・都市環境学的な手法を用いて、既存の小学校とその周辺の都市環境を気候変動に適応させるための新たな提案を課題としました。

本年度の WS には、ENSAPVS の学生及び留学生計 16 名、天津大学の学生 11 名、そして本学建築学コース博士前期課程 1 年の飯田旭くん、岩田歩士くん、高塚茉由さん、田島航くん、宮本賢吾くん、向井祐希くん、山本萌さん計 7 名が参加し、4 つの混成チームに分かれて本課題に取り組みました。ENSAPVS からはフランス、ドイツ、ルーマニア、トルコ、カナダ、イタリア、モロッコなどからの留学生も参加し、多様な文化的背景を持つ学生による国際性豊かなグループワークとなりました。本 WS の指導は、ENSAPVS の Boris Weliachew 教授、Lebanese University の Salah el-dinn 教授、天津大学の鄭穎副教授、楊鴻瑋副教授、本学の小松尚教授、李燕講師、項一朗助教が担当しました。本 WS は、2009 年度に ENSAPVS、2015 年度に天津大学と締結した学術交流協定を基盤として、本学建築学コースおよび両校の修士課程相当の学生を対象に実施しているものです。文化的背景の異なる学生が英語を共通言語として協働し、建築・都市デザインの提案をまとめる機会として 2009 年より開催しており、本年で通算 28 回となりました。

WS 初日の午前には、参加学生と教員全員でパリ 13 区役所を訪れ、パリ市が小学校を対象に進めている気候変動への適応策「Cours Oasis」について説明を受けました。その後、パリ 13 区および 12 区の小学校周辺の街路や校庭を対象に現地調査を行いました。夕方には ENSAPVS に戻り、対象敷地の説明とグループ編成を行いました。3 日目の午後には中間発表を行い、各チームの敷地分析と設計コンセプトを共有し、提案の方向性を確認しました。5 日目の朝には、日本と中国の学生は ENSAPVS の建築材料展示室、図書館を見学しました。午後からは、限られた時間の中で、パース図の作成やプレゼンテーションシートのレイアウトなど、最終発表に向けた作業を急ピッチで進めました。夕方には成果発表会を行い、各チームが分析結果と提案内容を A0 判 2 枚の図面とコンセプト模型を用いて発表しました。講評では、教員から各グループに具体的なフィードバックが寄せられ、活発な議論が交わされました。5 日間という短期間の中で、各チームは独自のアプローチから、学校周辺の公共空間を改善し、子どもや保護者、住民が集い、交流し、自然を体験できる、涼しく、楽しく、安全な周辺環境とまちづくりのあり方を提案しました。

なお、本ワークショップに参加する院生の派遣は、独立行政法人日本学生支援機構の令和 8 年度海外留学支援制度（協定派遣）採択プログラムとして実施し、教員の派遣等については環境学研究科研究科長裁量経費の支援を受けました。

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校
天津大学建築学院

交流実績

2009 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2009
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 40 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090413/index.html>

2009 年 9 月 : Japan Workshop ENSA-PVS / GSES-NU 2009-2012 Prospective Metropolitaine
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090927/index.html>

2009 年 9 月 : 名古屋大学大学院環境学研究科とパリヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校の
間で学術交流協定及び覚書を締結
報告記事 < http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20091130/index.html>

2010 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2010
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 12 名、GSES-NU 大学院生 36 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100412/index.html>

2010 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2010-2
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生約 30 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100921/index.html>

2011 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2011
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、米国カンザス大学大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>

2012 年 4 月 : 国際建築都市設計ワークショップ 2012
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 9 名、テルアビブ大学学生 9 名、GSES-NU 大学院生 27 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>

2012 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2012
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20120924/index.html>

2013 年 4-5 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 17 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>

2013 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2013
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 15 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20130916/index.html>

2014 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2014
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 21 名、天津大学 1 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>

2014 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2014
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 26 名、GSES-NU 大学院生 7 名、天津大学 4 名が参加)
報告記事 http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140922/index.html

2015 年 5 月 : GSES-NU/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2015
(会場 : 名古屋、GSES-NU 大学院生 17 名、天津大学 8 名が参加)
報告記事 < http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20150525/index.html>

2015 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2015
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 約 60 名、GSES-NU 大学院生 6 名、天津大学 2 名が参加)
報告記事 < http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20150914/index.html>

2016 年 2 月 : 名古屋大学大学院環境学研究科と天津大学建築学院の間で学術交流協定及び覚書を締結

2016 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2016
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 15 名、GSES-NU 大学院生 18 名、天津大学 14 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20160425/index.html>

2017 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2017
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 22 名、天津大学 14 名が参加)
報告記事 < http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20170417/index.html>

2017 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2017
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 約 60 名、GSES-NU 大学院生 6 名、天津大学 7 名が参加)
報告記事 < http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20170918/index.html>

2018 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2018
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 17 名、GSES-NU 大学院生 24 名、天津大学 15 名が参加)
報告記事 < http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20180423/index.html>

2018 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築・都市設計ワークショップ 2019
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 80 名、GSES-NU 大学院生 7 名、天津大学 11 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20180917/index.html>

2019 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2019
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 14 名、GSES-NU 大学院生 20 名、天津大学 15 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20190422/index.html>

2019 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2019
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 80 名、GSES-NU 大学院生 11 名、天津大学 5 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20190916/index.html>

2021 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/TIANJIN Univ. 合同建築・都市設計ワークショップ 2021
(会場 : オンライン、ENSA-PVS 大学院生 19 名、GSES-NU 大学院生 18 名、天津大学 15 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20210417/index.html>

2022 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2022
(会場 : オンライン、GSES-NU 大学院生 18 名、天津大学 15 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20220423/index.html>

2023 年 4 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2023
(会場 : 名古屋、ENSA-PVS 大学院生 18 名、GSES-NU 大学院生 15 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20230424/index.html>

2023 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2023
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.jp/news/20230925/index.html>

2024 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築都市設計ワークショップ 2024
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.jp/topics/20240923/index.html>

2025 年 4 月 : GSES-NU/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2025
(会場 : 名古屋、天津大学 15 名、GSES-NU 大学院生 10 名が参加)
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.jp/topics/20250425/index.html>

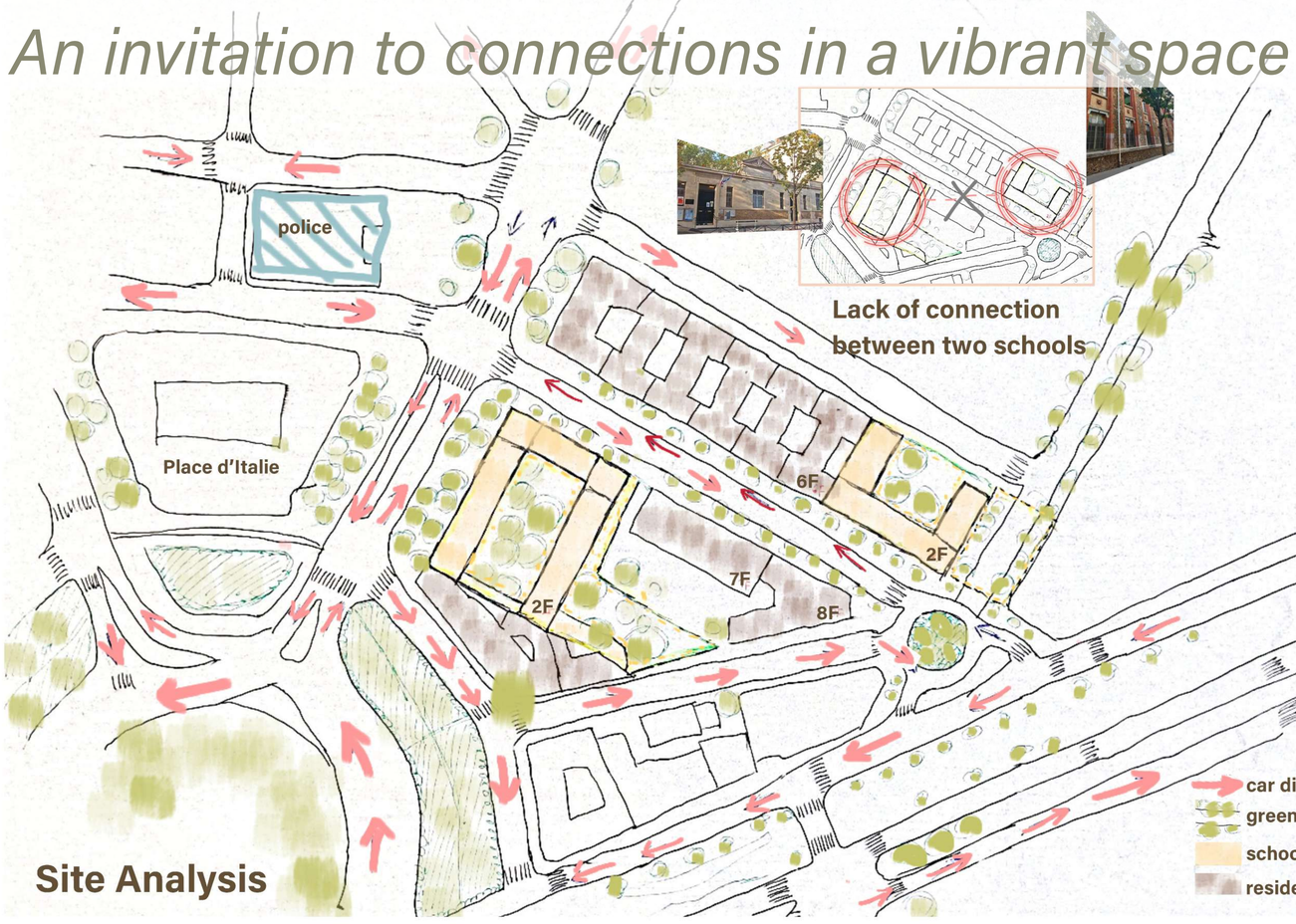
2025 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2025
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 22 名、GSES-NU 大学院生 4 名、天津大学 4 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/topics/20250915/index.html>

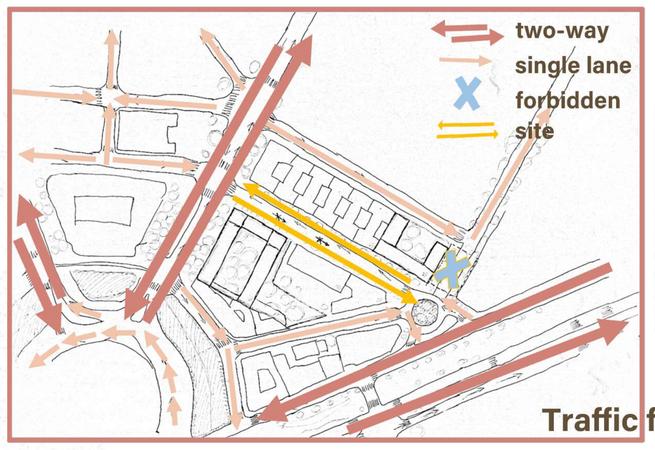
2026 年 9 月 : GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ. 合同建築都市設計ワークショップ 2026
(会場 : パリ、ENSA-PVS 大学院生 16 名、GSES-NU 大学院生 7 名、天津大学 11 名が参加)
報告記事 <https://www.env.nagoya-u.ac.jp/topics/20260914/index.html>

*2011 年 4 月の名古屋でのワークショップは、東日本大震災発生のため中止した。

Roots over Routes

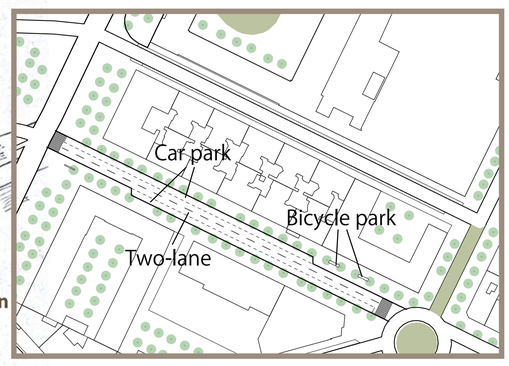
An invitation to connections in a vibrant space



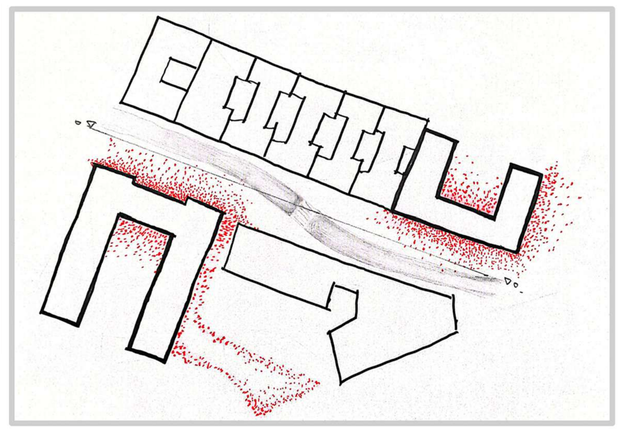


Parking & vehicles oppupy the street





Children activity



Limited plant species



Insufficient shading/noise isolation

Closed windows & stores



Lack of public facility: chairs etc.

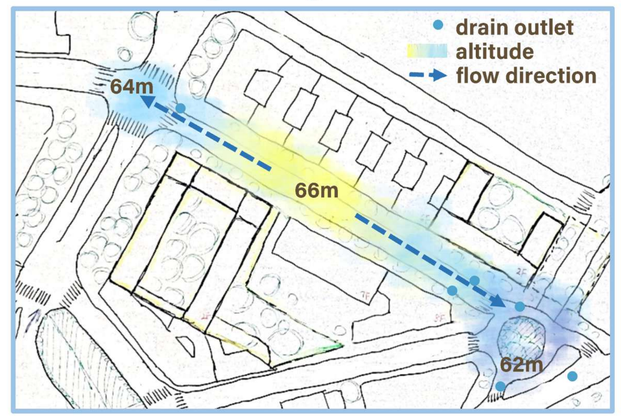


Not designed for children



Difficult to stay

Water drainage: height diffference



MAIN PROBLEM

The street **lacks** spaces that are welcoming to pedestrias and children, making the area feel quiet and disconnected.

OBJECTIVE

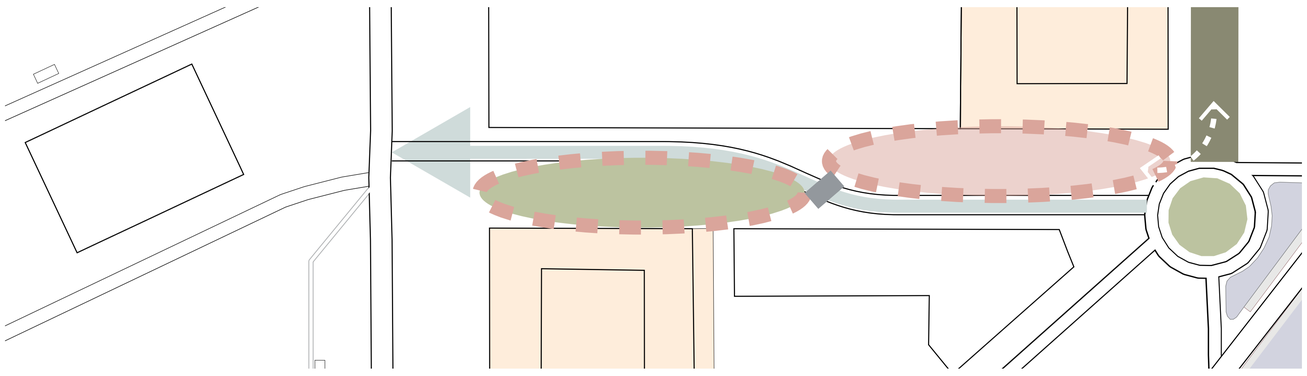
To create a vibrant public space where people, activities, nature, and the surrounding community can come together.

CONCEPT

Roots over Routes *-An invitation to connections in a vibrant space-*

Design Guide Lines

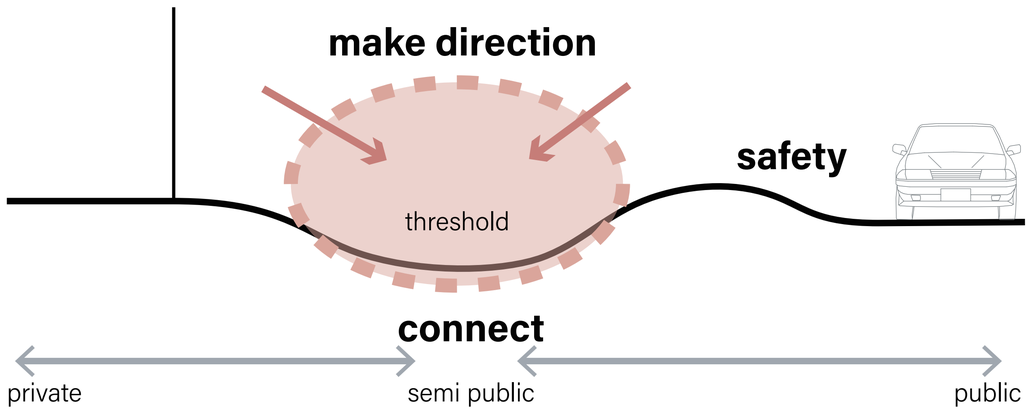
① Rebalance Vehicles and Pedestrians



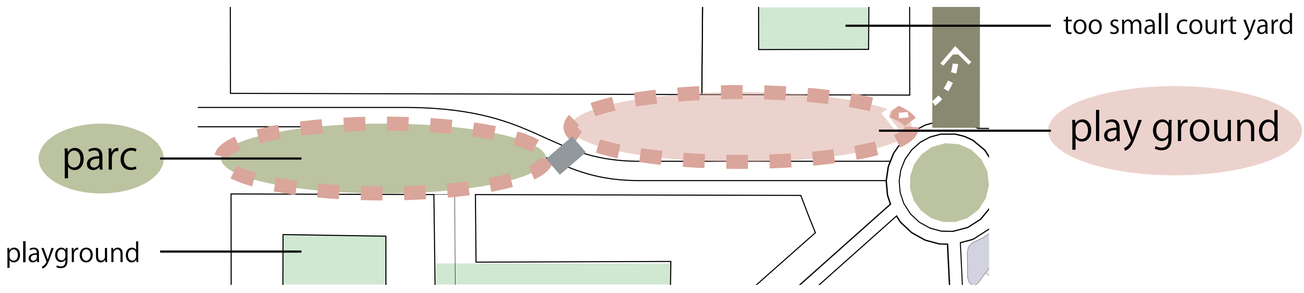
The street is curved to create two pedestrian areas around each school.

By reducing the road to a single one-way lane along the main traffic flow, more space can be allocated to pedestrians.

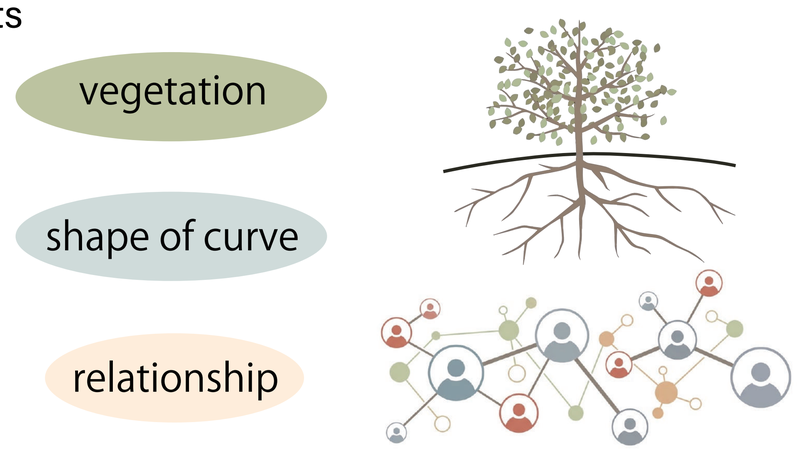
② Create threshold



③ two different thershold

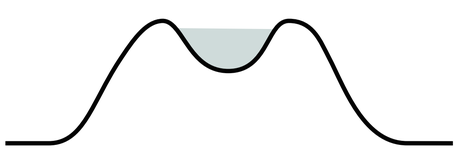


④ Roots



Kinds of hill/sunken threshold

■ water



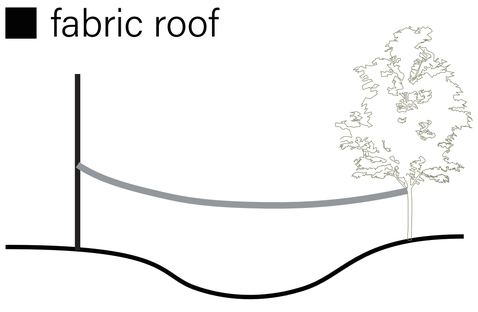
▷cooler
▷retention

■ vegetation



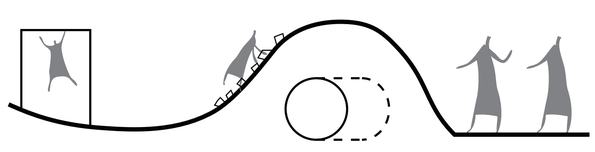
▷cooler
▷safety
▷relax

■ fabric roof



▷using exising trees
▷shade
▷variable

■ sport



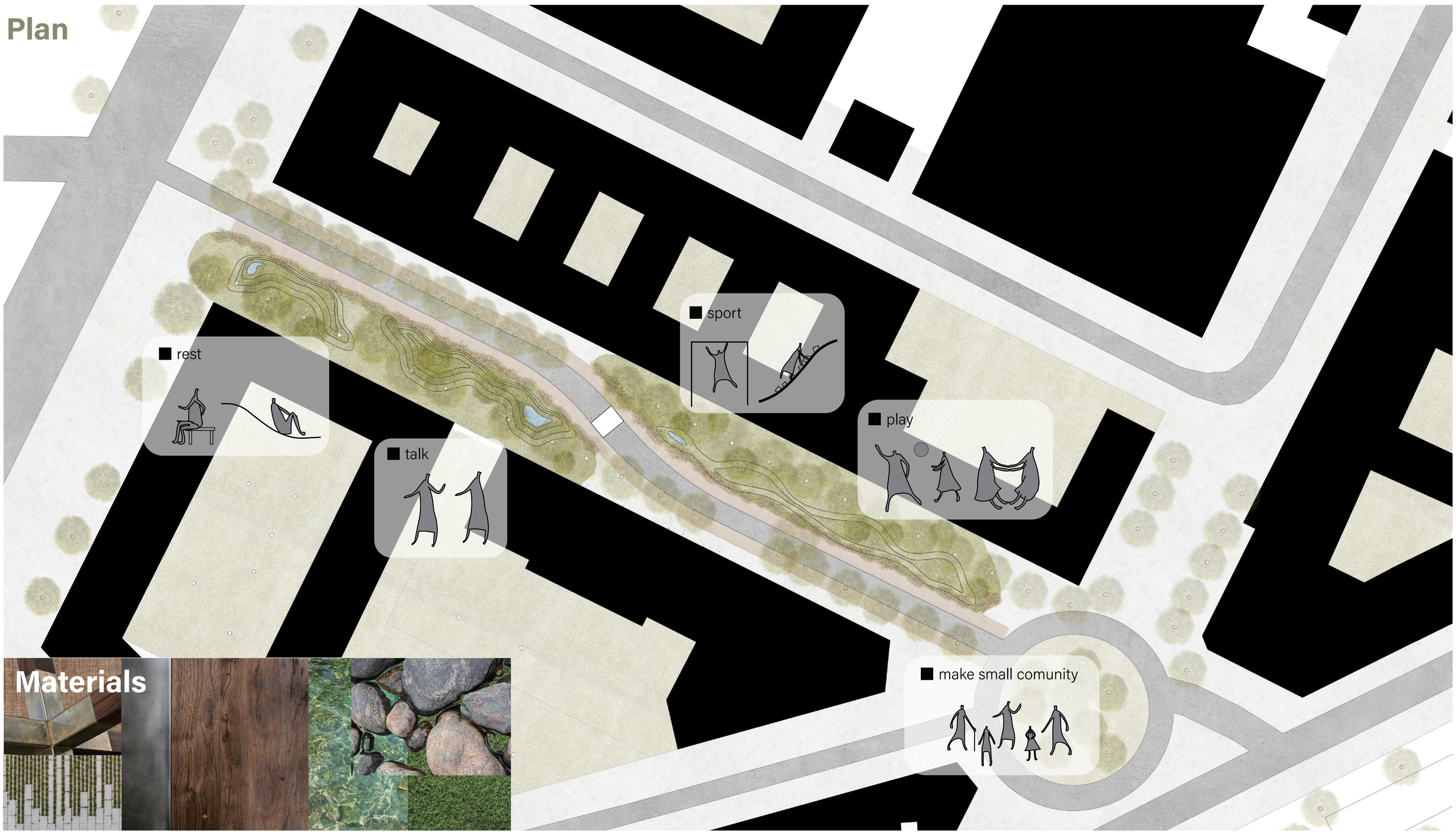
▷gathering
▷for children
▷energetic







Plan



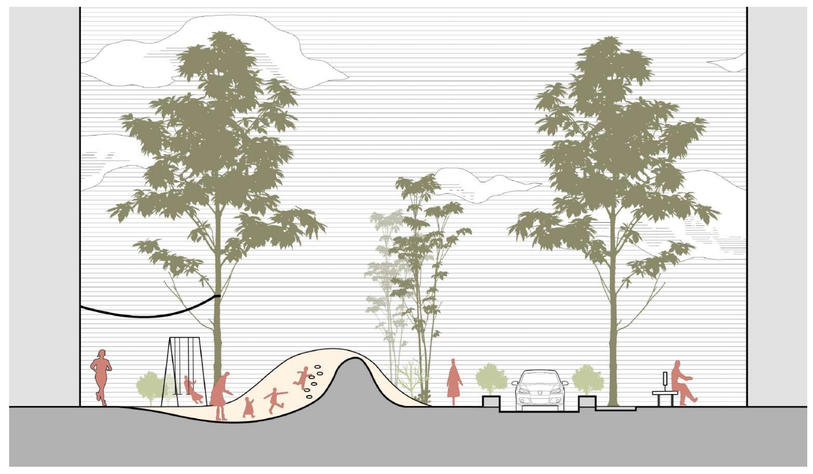
1-1 Section



2-2 Section



3-3 Section



4-4 Section



BUILD YOUR BLOCK !

Facing current environmental, climate and social challenges, this project aims to transform the street between Stephen Pichon and Fagon schools into a greener, cooler, and more inclusive Rue aux Écoles.

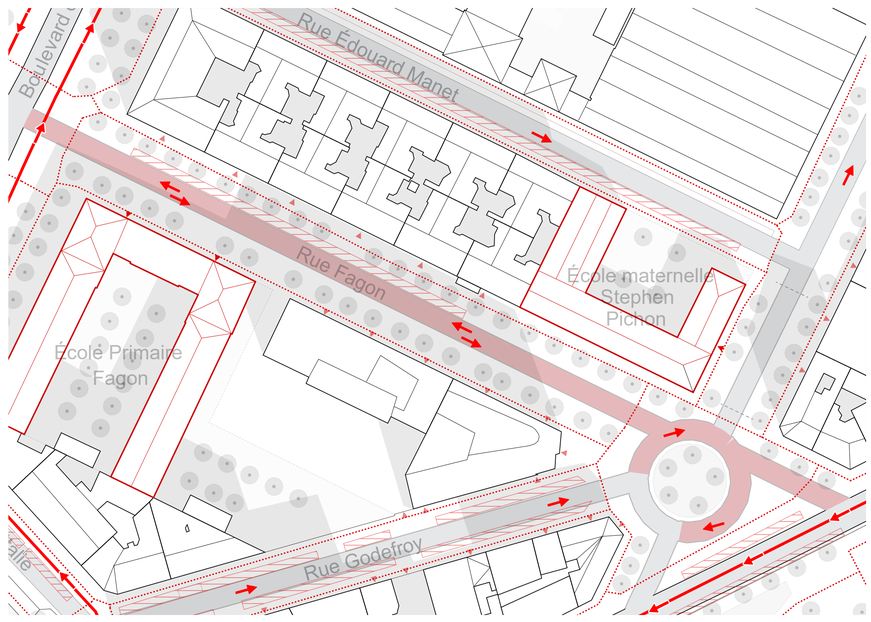
GROUP 2
Aline Armanet
Pietro Cazzuffi
Rita Krisni
Kengo Miyamoto
Wataru Tajima
Liu Siyao
Zhou Yongjie

01 SITE ANALYSIS



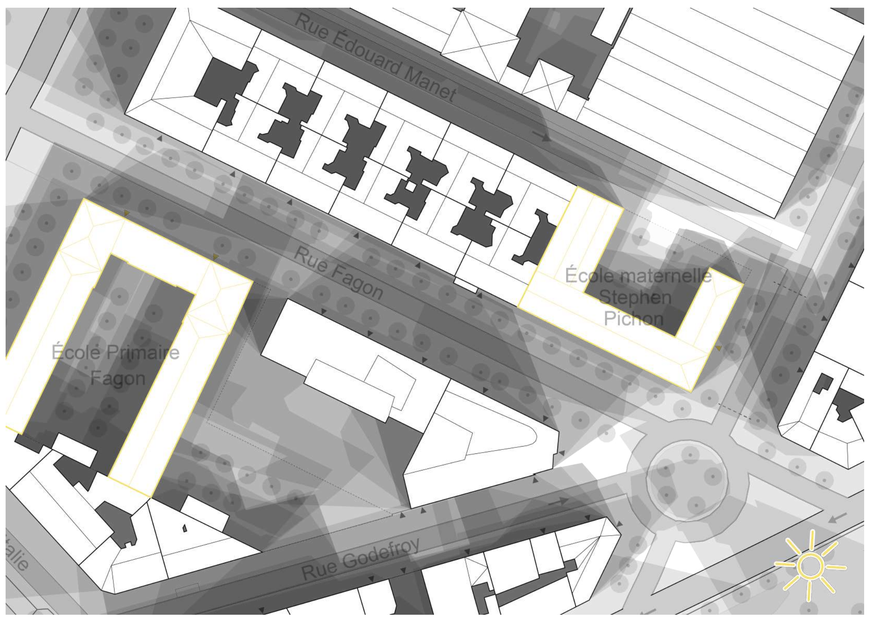
Tree types
1-1500e

- Noisetier
- Robinier
- Erable
- Platane
- Murier
- Micocoulier
- Marronnier

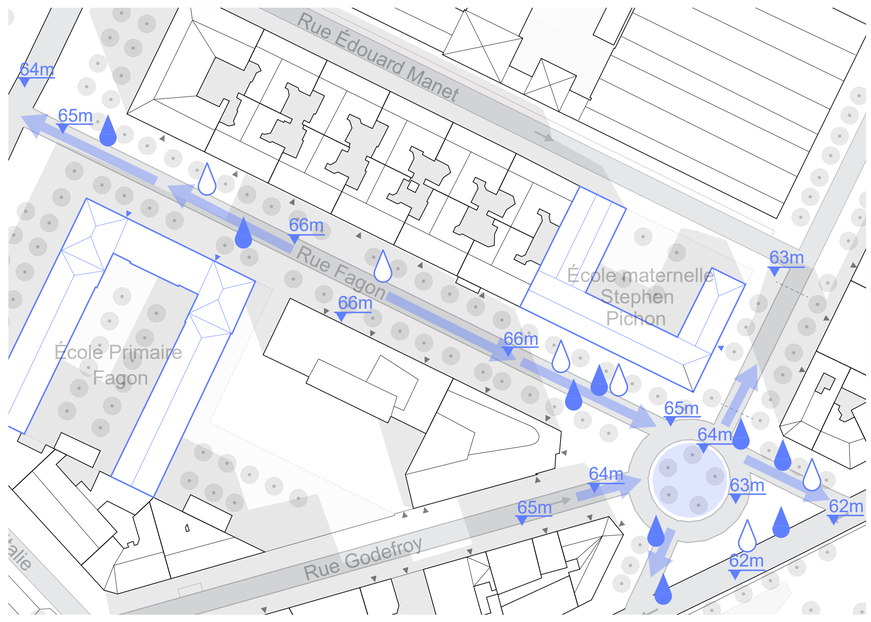


Circulation plan
1-1500e

- Area of concern
- Parking spaces
- Direction of traffic
- Pedestrian circulation
- Car circulation



Sun path - All year
1-1500e

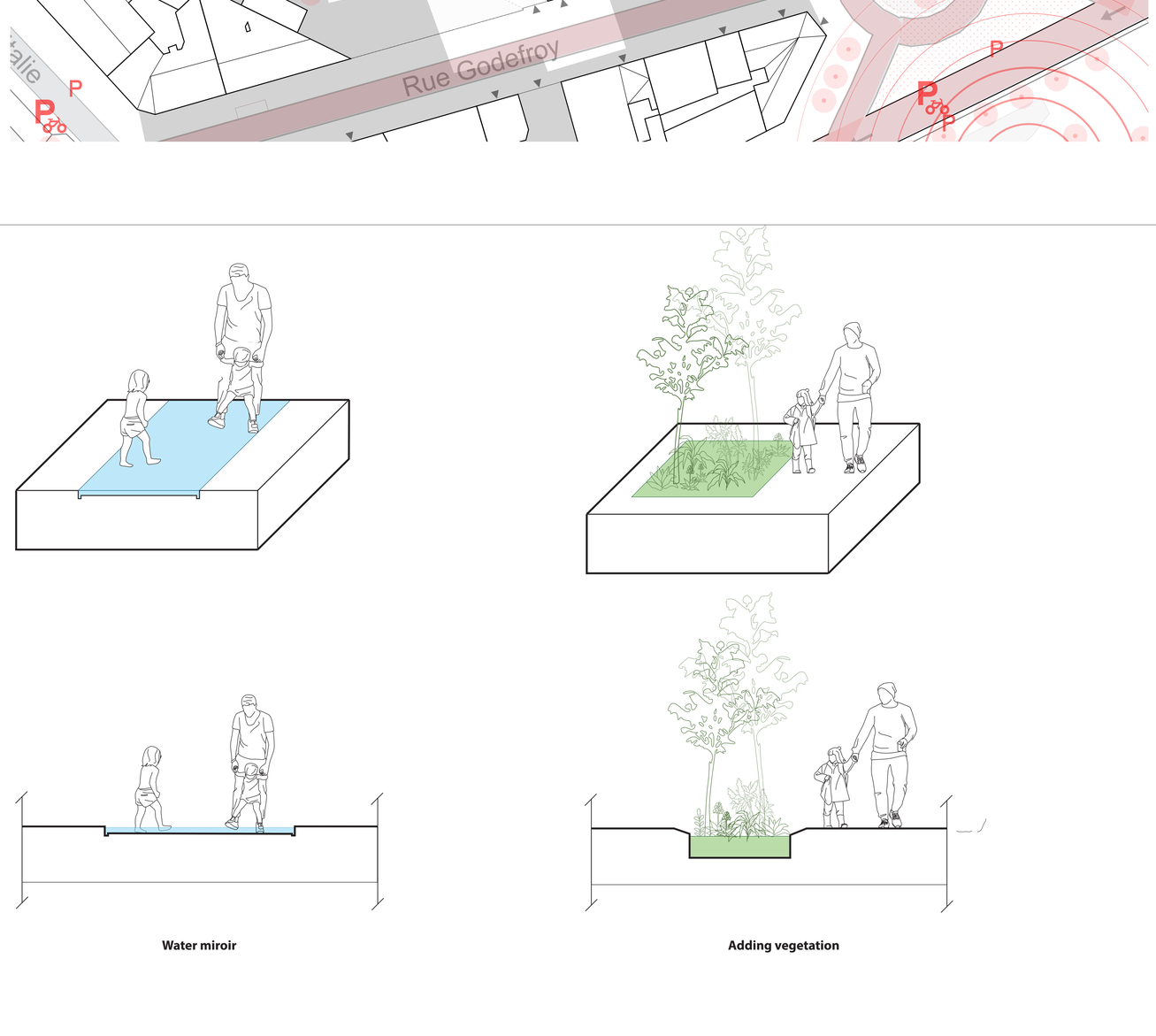


Water drainage and evacuation
1-1500e

- Curb drainage
- Pavement drainage
- Direction of water flow
- 62m Height of the ground

02 DEFINING THE ISSUES

Defining main problems to guide us in the design process, creating an appropriate contextual project.

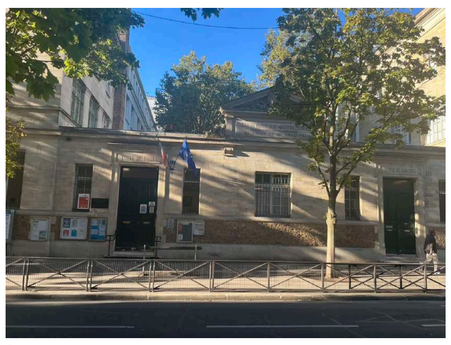


Problem map
1-1000e



2

- Area of concern
- Asphalt
- Parking spot
- Increase in temperature
- Important area
- Noise
- Direction of circulation
- Connexion
- Trees



1

03 NATURE BASED SOLUTIONS

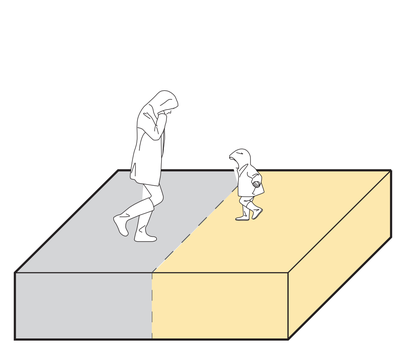
Through passive cooling strategies and environmentally responsible solutions, the project creates a shared space that connects the two schools and strengthens interactions between students, parents, teachers, and local residents.
Designed to be realistic, affordable, and adaptable, the proposal can become a model for other school streets across Paris.

LIGHT-COLOURED PAVEMENT
Replacing dark asphalt with a light-coloured surface reflects more solar radiation and stores less heat. In direct sunlight, the pavement surface can be around 5–15°C cooler than conventional dark asphalt, helping reduce heat released back into the street.

WATER
Shallow water features cool their immediate surroundings through evaporation while creating playful spaces for children. The local cooling effect on air temperature is typically around 1–3°C, depending on weather conditions and design.

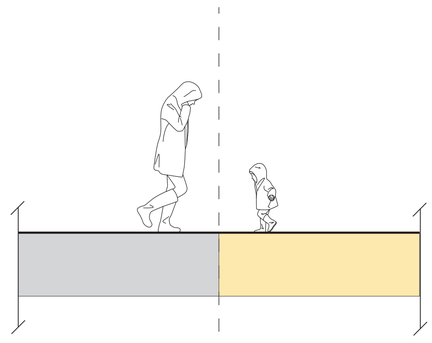
VEGETATION
Trees and planted areas provide both shade and evapotranspiration, reducing heat accumulation and retaining moisture within the site. Under tree shade, surface temperatures can be 10–25°C lower than on exposed mineral surfaces, while the surrounding air can be several degrees cooler.

SHADE
The modular structures create shaded areas that protect children and public spaces from direct solar radiation. Shade mainly improves thermal comfort by preventing surfaces and people from heating up, with shaded surfaces often 10–20°C cooler than those exposed to direct sunlight.



Water miroir

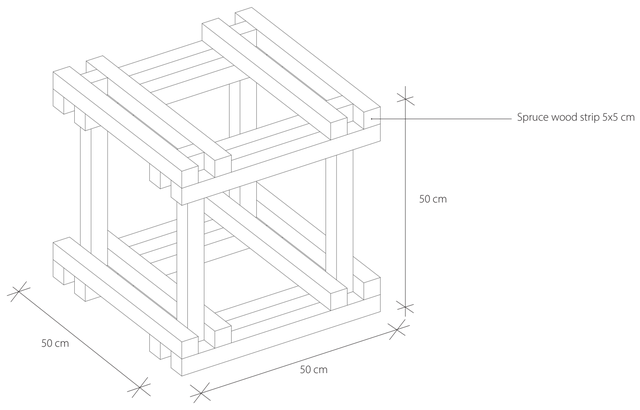
Adding vegetation

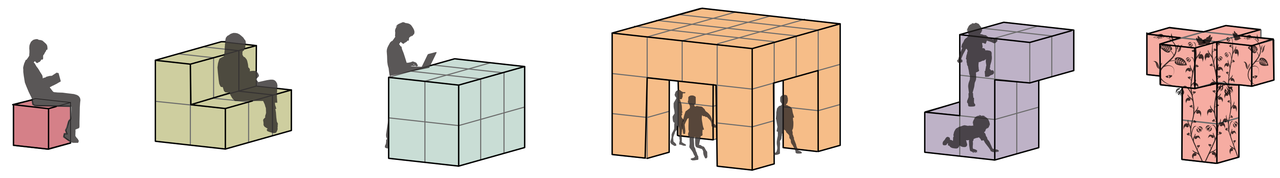


Changing the ground cover (asphalt)

04 CONCEPT DIAGRAMS

6 Typologies designed to solve the defined challenges

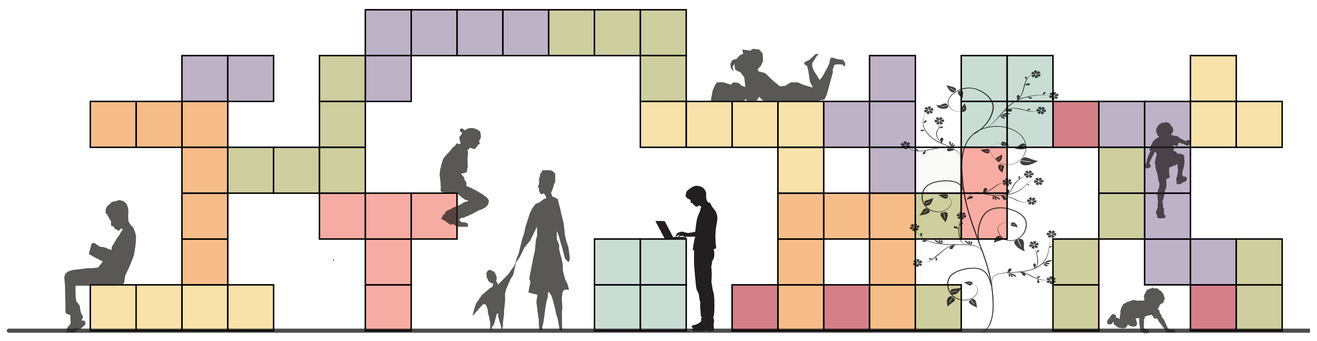


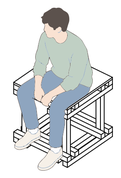


Stacking the typologies to solve each challenges and make unexpected activities

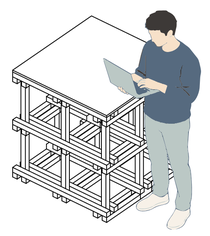
The project is based on a system of modular blocks that can be combined to support different functions and uses. Their placement responds directly to the site analysis, allowing each configuration to address specific needs identified along the street.

Their open and permeable form encourages natural airflow, supporting passive cooling while creating a changing interplay of light and shadow. This dynamic environment stimulates curiosity, play, and interaction, making the street both climate-responsive and engaging for children.





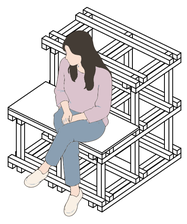
Stool



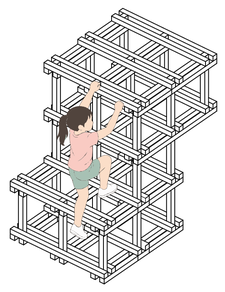
Desk

05 DESIGN PLAN

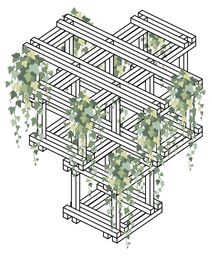




Bench

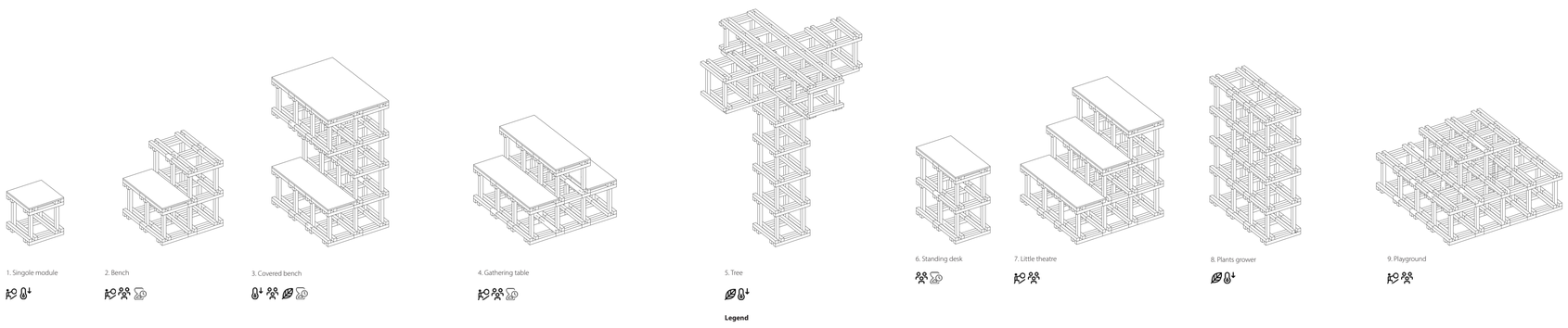


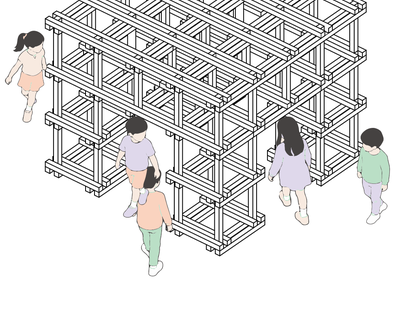
Climbing structure



Vegetation tree

Location of the typologies
1-1000e





Maze, game

06 VIEWS

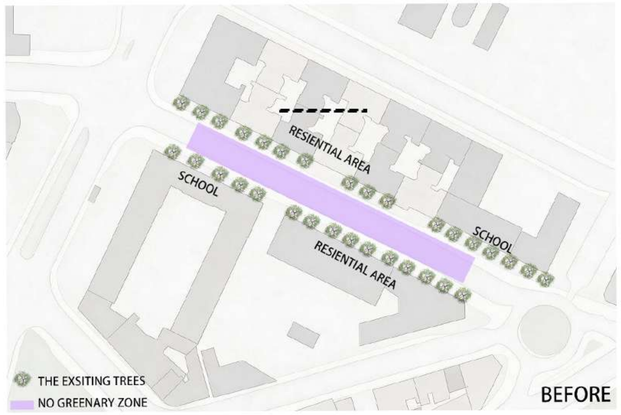
Final aspect of the project



Street view

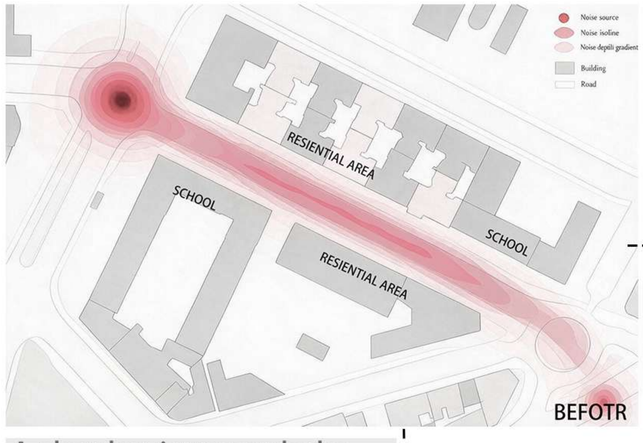


New square



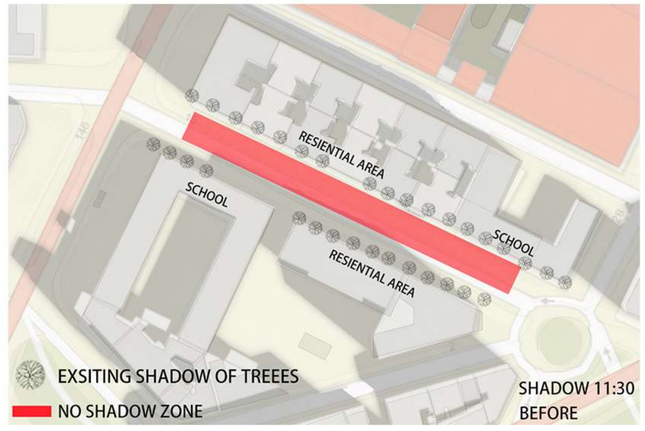
OVERVIEW OF THE STREET

Like many streets in Paris, Rue Fagon is a grey street consisting of asphalt, parked cars and only small to no space for pedestrians. The Project ☒Play with Ground ‘‘ is going to change it into a green, cool, quiet and safe road, made for kids to play and families to spend their afternoons.



Heavy traffic flows beside the school, making this an unsafe space for children to commute to and from school and to play.

Yuki Mukai
Moe Yamamoto
Zheng Yiman
Liu Yushan
Alessia Muzzatti
Pierluigi Martincig
Liv Zugrodnik
Amelie Senn

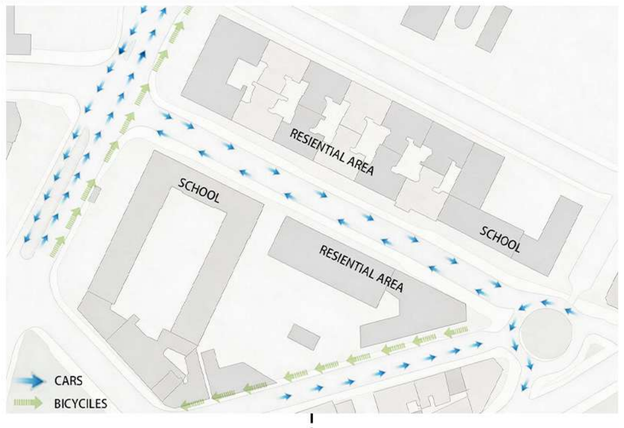


Huge green islands with plants considered as climate resilient, due to their great heat and drought tolerance, shade and cooling effects as well as carbon storage potential, create a playful,

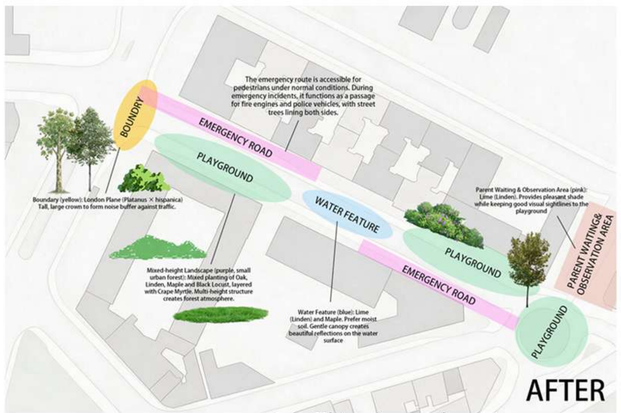
GREENER

A plant barrier towards the noisy main street, consisting of bushes such as the Crepe myrtle, dampens traffic noise and creates space for a human soundscape. Besides that, a second layer of sound is added by the water and the leaves playing in the wind. We aspire the road to be a quieter space than its surrounding streets, having enough capacity for the sound of children playing.

QUIETER

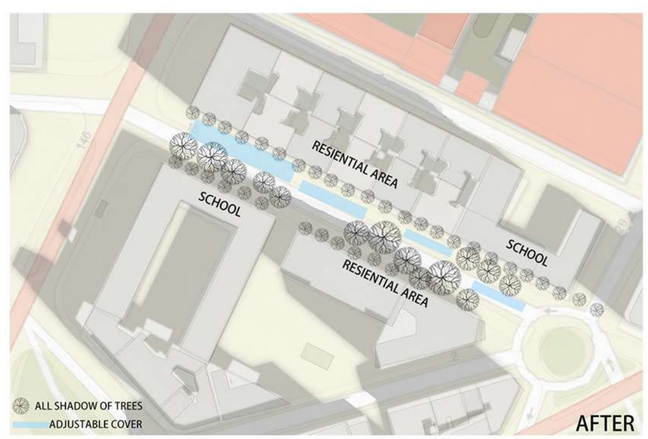


PLAY WITH GROUND



The trees with a maximum height of 35 m and the adjustable covers create huge shadows along the street, cooling it down and making it playable throughout the day. Especially on hot days collected and filtered water is being vaporized through the ground, cooling down the street surface and giving the families the opportunities to refresh themselves in the cool steam and the game coming along with it. This prevents the road from heating up and creates a cooling effect from both above and below.

COOLER

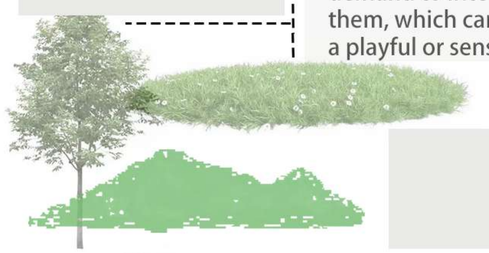




OVERVIEW OF THE AFTER STREET

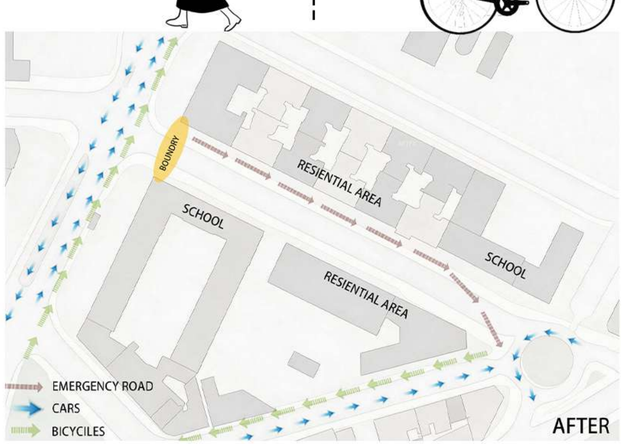
After renovation, the street features more greenery and a cooler microclimate. It becomes more recreational and safer for children, while offering greater comfort and diverse activities for adults. No longer prioritizing vehicles alone, it creates a welcoming shared space for both grown-ups and kids.

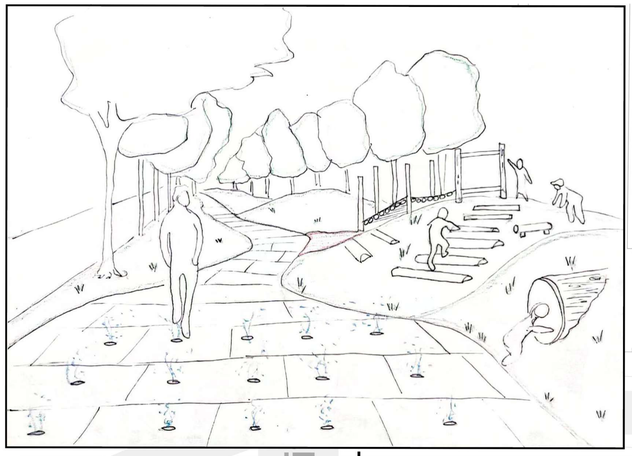
This atmosphere is supported by hills that create a new landscape, where the ground is the main actor. They evoke the demand to interact with them, which can be both in a playful or sensory manner

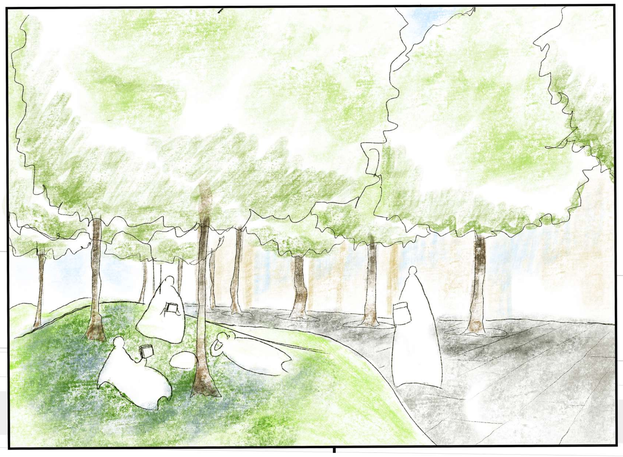


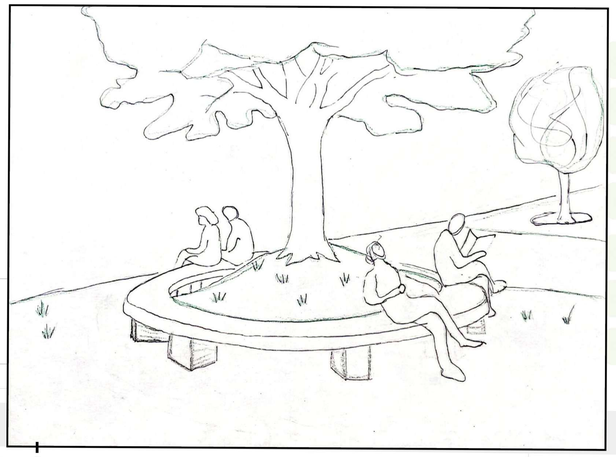
Apart from emergency access, only pedestrians and bicycles are permitted here, creating a safer area for children

SAFER











Boulevard de l'Hôpi

Ecole Maternelle

Restaurant

A5

A2

A5

A4

A5

A1

A3

Bench

A4

+1200

-300

+1000

+700

+600

+1200

+500

+300

+0

+200

-200

-200

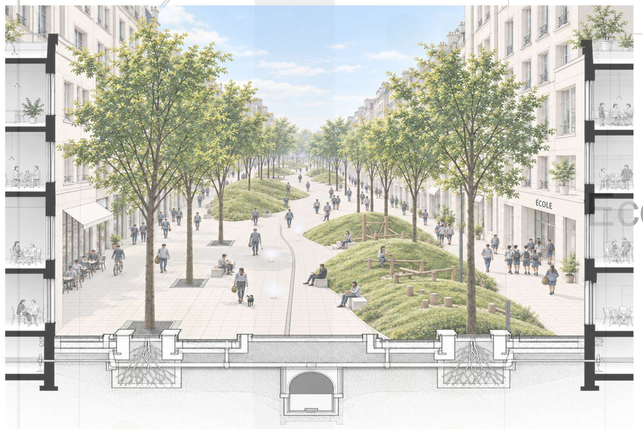
+0

+700

+100

Boulevard Vincent Auric

Place des Alpes



Ecole Primaire Fagon

Scool yard

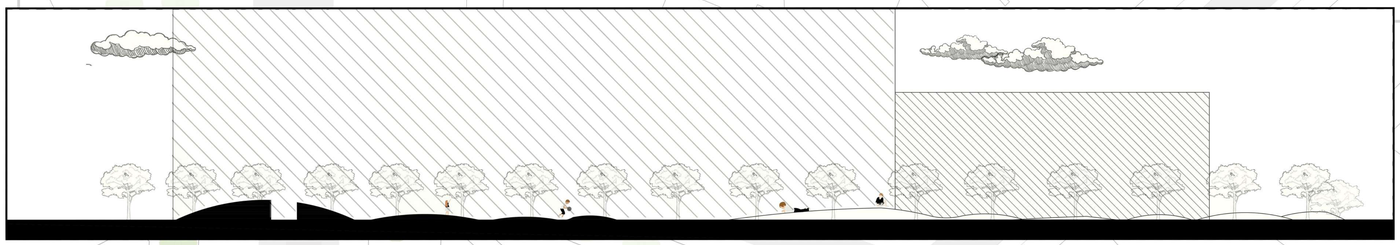
Rue Godefroy

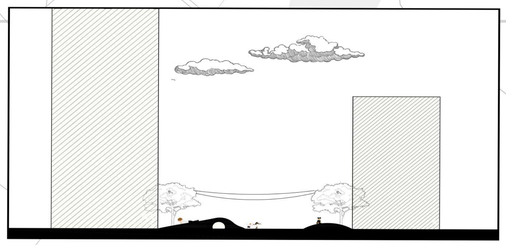
LEGEND:

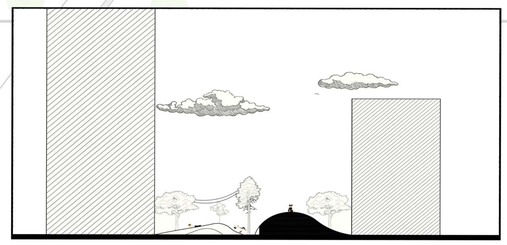
- Green Hills
- Grass
- Wooden Chips Green
- EPDM
- STONE TILE
- Mud

AREAS:

- A1: Elehentary School Playground
- A2: Picnic Area
- A3: Reading Area
- A4: Kindergraden Playground
- A5: Misting Pavement







SLOW DOWN Cool Down!



Density of Daily Use (during the day)

Density of Children (particularly between 7:00-8:30 in the morning & 15:00-16:30 in the afternoon)

School Entrances

Direction of Vehicle Paths

Limited Access (gated)

Gated Public Areas

Gated Public Area with Limited Timeframe (only for kids during the week and open to public on Saturdays)

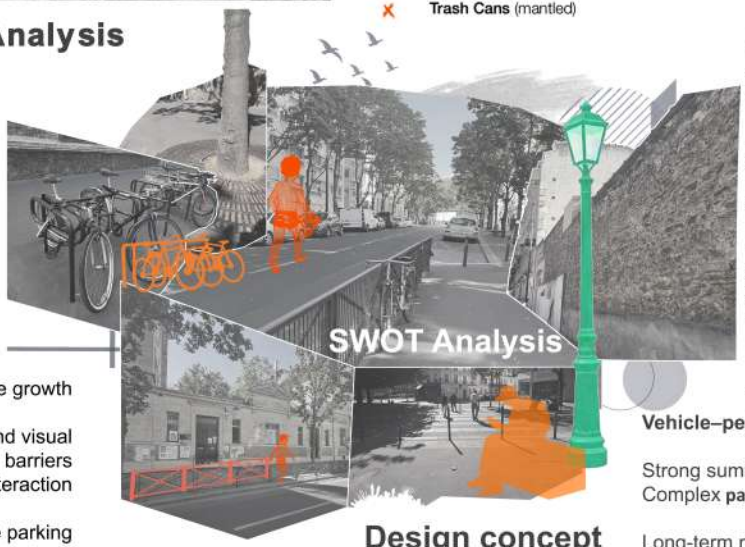
Potential Public Areas (open to public on Saturdays if possible)

Trash Cans (mantled)



Site Location

Site Use & Circulation Analysis



STRENGTHS

Wide street with strong transformation potential

Existing trees provide natural shade
Close to a **primary school** with active daily use

Strong historic street **characte**

WEAKNESSES

Small tree pits limit tree growth

High railings create **physical** and visual barriers
Long blank walls lack interaction

Disorganized bicycle parking
Too much space occupied by **parked cars**

OPPORTUNITIES

Reduce parking and create more **pedestrian space**

Create shaded waiting areas for parents Introduce more greenery and rainwater management

Add **child-friendly street** furniture and playful ground design
Create a cooler and more **active** school street

THREATS

Vehicle–pedestrian conflicts during school hours

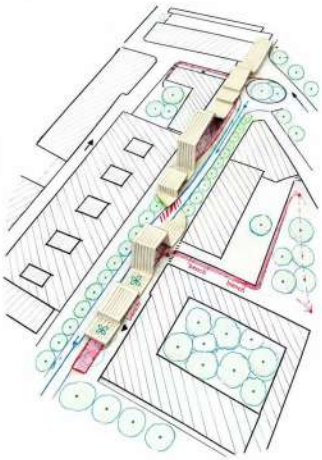
Strong summer sun and insufficient shade
Complex **parking** and **traffic** management

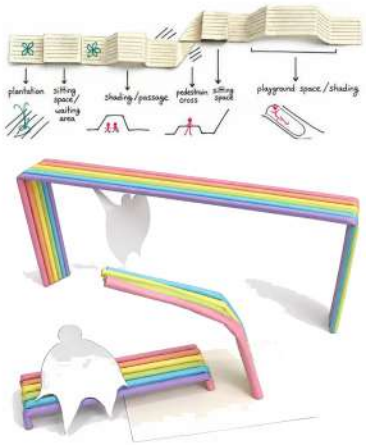
Long-term maintenance of **planting and facilities**
Uncertainty from future urban development

Design concept

reclaims the street as a living climate corridor, weaving movement and water into a playful double helix that **protects children**, **cools the city** and **nurtures vegetation**

HOW + WHAT DOES IT BECOME





Ecological goals

rainwater retention
biodiversity
soil restoration

Climate goals

lower temperatures

increase shade coverage
improve **permeability**

enhance ventilation

Children's goals

independent curious
sensory-rich safe

Urban goals

connect schools with communities

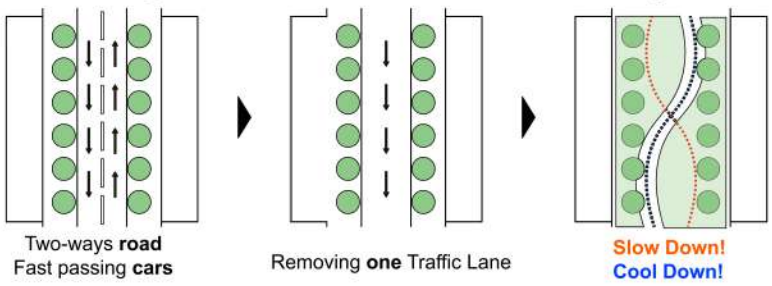
share streets

Social goals

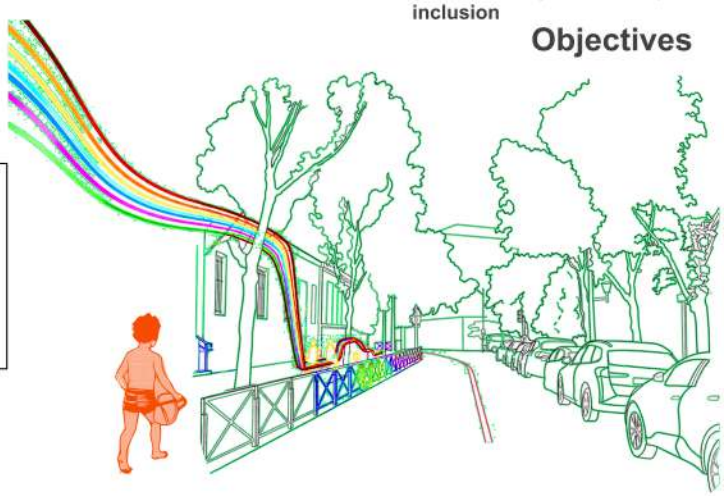
coexistence of multiple activities
gender equality accessibility
inclusion

Objectives

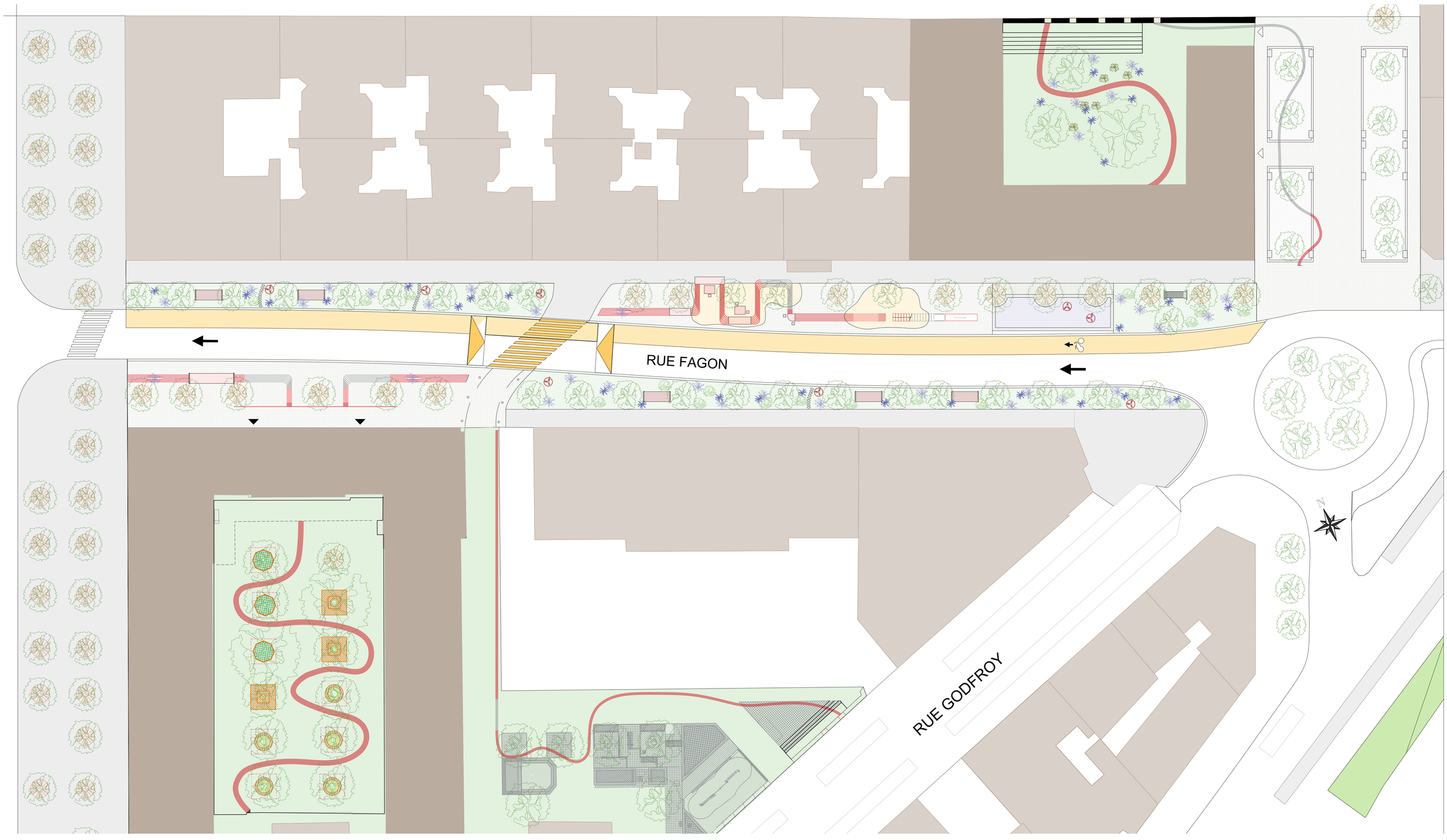
Design Intervention Diagram



Street Transformation



SLOW DOWN Cool Down !





PERMEABLE PAVEMENTS

GRASS
100 % permeable

NATURAL SOIL
100 % permeable

GRAVEL
~ 90% permeable

CLAY
~ 60 % permeable

GRASS PAVERS
~ 75 % permeable

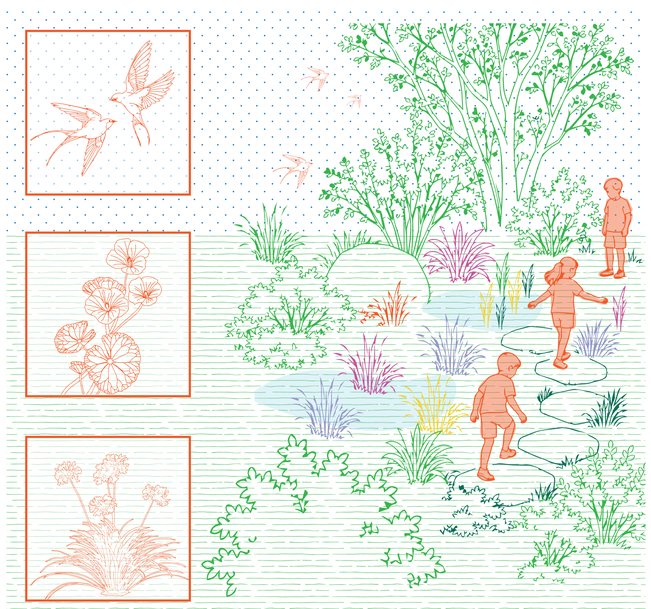
STONE PAVERS
~ 50 % permeable

NATURE & PLAY

SHARED HABITAT
Trees, shrubs and flowers create shelter for wildlife and attract pollinators.

RAIN GARDEN
Planted depressions collect runoff, revealing how rain interacts with soil and vegetation.

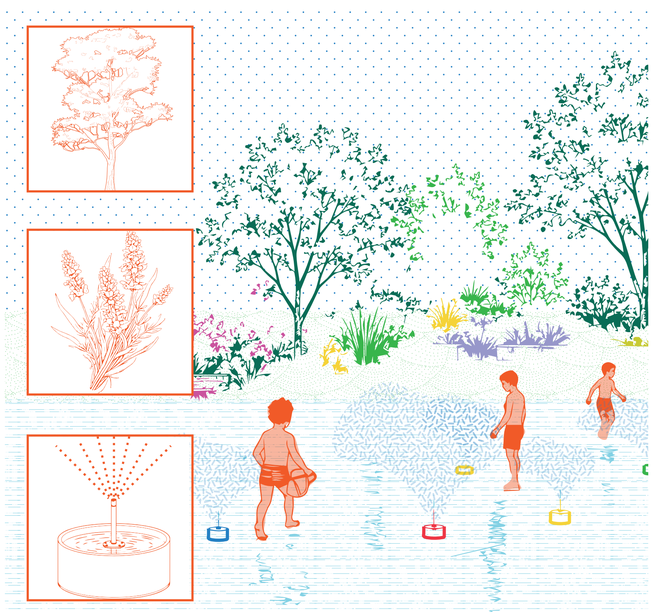
LEARNING
Familiar plants introduce colour, scent, texture and seasonal learning into everyday play.



EXISTING CANOPY
Existing trees are preserved and complemented by maple and poplar, increasing shade, habitat and seasonal change.

SENSORY VEGETATION
Aromatic and tactile plants reveal seasonal change through scent, colour, flowers and texture.

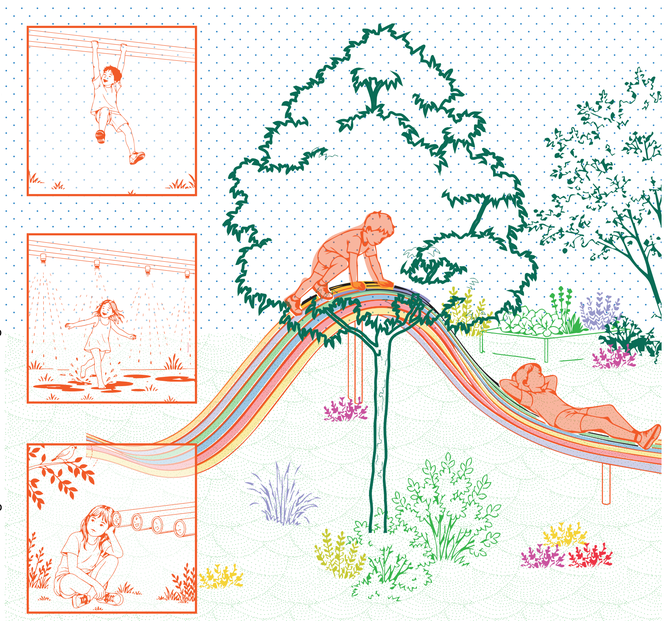
WATER AS PLAY
Small water jets provide playful cooling and make water visible in the landscape.



CLIMB
Tubular metallic bars invite children to climb, hang and balance. The pipes asre made out of stainless steel, coated with a heat-resisten paint.

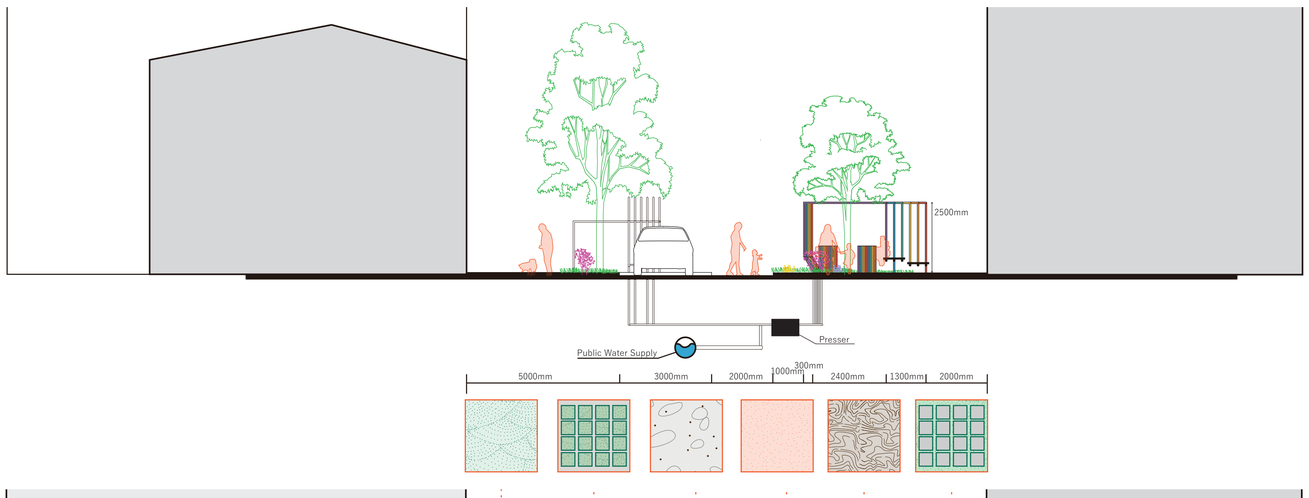
COOL
Integrated nozzles release a fine cooling mist, while a heat-resistant coating keeps surfaces safer to touch.

LISTEN
Hollow tubes channel surrounding sounds, encouraging children to listen to birds and nature



THE STREET AS A PLAYGROUND

VERSATILITY
The pipes sytem acts as a new playful infrastructure for pedestrians. It changes its shape according to the needs of the street. From playground to seating area, to irrigation system, the pipes guide the children's path and meet their needs.



PERMEABILITY
The street has been depaved, and instead more permeable materials where chosen.
The new 'pavements' help improve the absorbtion of water, and also help slow down the traffic.

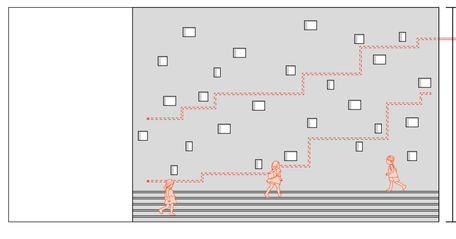


PLAY AS STRUCTURE

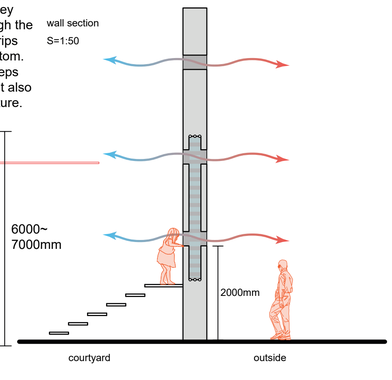
INSIDE/ OUTSIDE
To open up the schools' courtyards while maintaing the safety, the walls have been perforated. It creates a safe and fun playground where children can peep outside.

WATERFALL
Moreover, pipes have been introduced in the walls. They create a waterfall effect through the holes, as the pipe on top drips water into the one in the bottom. Not only it reinforces the pieps design in the courtyards, but it also recconects children with nature.

wall elevation
S=1:100



wall section
S=1:50



ALL YEAR ROUND

SEASONAL DESIGN
The design was careful chosen so it can act both as a playground and as a cooling system all year round.

